

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	みらいポケットまいづる		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 2日 ～ 2024年 12月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数) 27名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 16日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様との面談の中で様々な課題の聞き取りを行い、個別・集団療育の中で個々の目標に向けて支援を行っています。 全職員有資格者を配置している為、様々な観点から意見を出し合い、本人支援、家族支援に努めている。	幅広い年齢層や個々の特性があるお子様ではありますが、基本的な生活習慣の習得や他者との関わり方等、社会で必要な力を身につける事が出来るように支援しています。	年間教育研修計画をもとに研修を実施し、職員のスキルアップを図ります。
2	近年ペーパーレス化が主流となってきたおり、当事業所もペーパーレス化に伴い、連絡帳アプリを導入しています。 日々の様子やお知らせ等は全てアプリでの発信を行い、保護者の方が手軽に確認でき、スムーズなやりとりが出来るようにしています。	利用日の様子を確認出来るように、その日の様子は連絡帳にて発信を行う。必要に応じて直接送迎時等でお話させてもらっています。面談等の調整もアプリ内で出来るようにアンケートを活用して実施し、スムーズな調整が出来るように努めています。	日々の利用日の様子の発信が出来ていない為、定期的な日々の様子の発信に充実を図ります。
3	当事業所は複合施設内にあり、複合施設での行事（夏祭り、作品展、おもちつき等）に参加する事ができ、そこで高齢者の方や他部署の職員さんとの交流をもつことが出来る。	夏祭りは保護者様参加型となっており、親子で一緒に楽しんでもらえるように日程調整をしています。	次年度は作品展で親子作品を飾る予定です。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の支援級のお子様の平日（学校日）の受け入れが難しくなっています。	地域の支援級はお迎え時間が学年によって様々であり、支援学校、支援級それぞれに送迎対応をする事が困難なことが要因としてあげられます。	土曜日にご利用して頂き、少しでも療育を受けて頂けるように検討する。
2	正峰会グループに就労継続支援A型、就労継続支援B型の事業所はあるものの、舞鶴エリアにはないため、法人内での途切れない支援が出来ない。	正峰会グループに就労継続支援A型、就労継続支援B型の事業所がないことが要因。	途切れない支援をする為に卒業後の進路先への引き継ぎを強化する。
3			